

令和6年度

福島市水道事業会計決算概要

令和7年7月29日 福島市水道事業経営審議会

福島市上下水道局



令和6年度業務実績表

(令和7年3月31日現在)

項目	A		B		比較		備考
	令和6年度	令和5年度	(A-B)C増減	C/B増減率(%)			
1. 総人口	269,208 人	272,485 人	△ 3,277 人	△ 1.2	基準日：各年3月31日現在 福島市の推計人口を基準に算出		
2. 計画給水人口	282,000 人	282,000 人	0 人	0.0			
3. 現在給水人口	263,714 人	266,859 人	△ 3,145 人	△ 1.2			
4. 給水戸数	128,926 戸	128,776 戸	150 戸	0.1			
5. 普及率	98.0 %	97.9 %	0.1 割	-	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{総人口}} \times 100$		
6. 導送配水管延長	1,650,218 m	1,648,826 m	1,392 m	0.1			
7. 配水能力	112,020 m ³ /日	112,020 m ³ /日	0 m ³ /日	0.0			
8. 年間総受水量	28,875,736 m ³	29,534,857 m ³	△ 659,121 m ³	△ 2.2			
9. 年間総配水量	29,030,564 m ³	29,707,244 m ³	△ 676,680 m ³	△ 2.3			
10. 年間総給水量	27,099,953 m ³	27,531,478 m ³	△ 431,525 m ³	△ 1.6			
11. 年間総有収水量	26,030,231 m ³	26,395,992 m ³	△ 365,761 m ³	△ 1.4			
12. 1日最大配水量	85,574 m ³	87,409 m ³	△ 1,835 m ³	△ 2.1			
13. 1日平均配水量	79,536 m ³	81,167 m ³	△ 1,631 m ³	△ 2.0	$\frac{\text{年間総配水量}}{365 \text{ 日}} \quad \text{※令和5年度は366日}$		
14. 1人1日最大配水量	324 l	328 l	△ 4 l	△ 1.2	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{現在給水人口}} \times 1,000\text{l}$		
15. 1人1日平均有収水量	270 l	270 l	0 l	0.0	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{現在給水人口} \times 365 \text{ 日}} \times 1,000\text{l} \quad \text{※令和5年度は366日}$		
16. 有収率	89.7 %	88.9 %	0.8 割	-	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$		
17. 職員数	115 人	114 人	1 人	0.9			
18. 損益勘定所属職員数	87 人	86 人	1 人	1.2			
19. 資本勘定所属職員数	28 人	28 人	0 人	0.0			
20. 負荷率	92.9 %	92.9 %	0.0 割	-	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$		
21. 施設利用率	71.0 %	72.5 %	△ 1.5 割	-	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$		
22. 最大稼働率	76.4 %	78.0 %	△ 1.6 割	-	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$		
23. 配水管使用効率	17.59 m ³ /m	18.02 m ³ /m	△ 0.43 m ³ /m	△ 2.4	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$		
24. 固定資産使用効率	6.81 m ³ /万円	7.13 m ³ /万円	△ 0.32 m ³ /万円	△ 4.5	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産(万円)}}$		
25. 供給単価	241.58 円/m ³	240.10 円/m ³	1.48 円/m ³	0.6	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$		
26. 給水原価	240.14 円/m ³	226.64 円/m ³	13.50 円/m ³	6.0	$\frac{\text{経常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$		
27. 供給損益	1.44 円/m ³	13.46 円/m ³	△ 12.02 円/m ³	△ 89.3	供給単価 - 給水原価		
28. 職員1人当たり給水人口	3,031 人	3,103 人	△ 72 人	△ 2.3	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$		
29. 職員1人当たり有収水量	299,198 m ³	306,930 m ³	△ 7,732 m ³	△ 2.5	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$		
30. 職員1人当たり営業収益	74,187 千円	75,622 千円	△ 1,435 千円	△ 1.9	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$		
31. 職員1人当たり有形固定資産	370,578 千円	365,521 千円	5,057 千円	1.4	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{全職員数}}$		

※「4.給水戸数」について、令和6年度から各月末の平均値を計上することとした。
これに伴い、令和5年度の数値についても、上記算出方法により置き換えたものである。

(2) 決算概要

収益的収支 (経営活動に関するもの)

項目	金額
収益的収入 (税込)	76億1,361万2,367円
収益的支出 (税込)	70億4,181万6,185円
純利益 (税抜)	3億8,586万5,881円

資本的収支 (資産形成・財産状況に関するもの)

項目	金額
資本的収入 (税込)	12億2,325万4,378円
資本的支出 (税込)	40億5,009万3,162円
不足額 (税込)	▲28億2,683万8,784円

年度末繰越財源

36億3,555万8,808円 (税抜)

◆前年度との比較

(単位 円、税込)

収益的収支	R 6 決算額 (A)	R 5 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
収益的収入	7,613,612,367	7,688,906,848	▲75,294,481	▲1.0
・水道料金	6,916,835,051	6,970,958,450	▲54,123,399	▲0.8
・有収水量 (m ³)	26,030,231	26,395,992	▲365,761	▲1.4
収益的支出	7,041,816,185	6,807,623,551	234,192,634	3.4
・旧渡利浄水場ほか解体工事	459,116,200	—	459,116,200	皆増
純利益 (税抜)	385,865,881	742,283,343	▲356,417,462	▲48.0

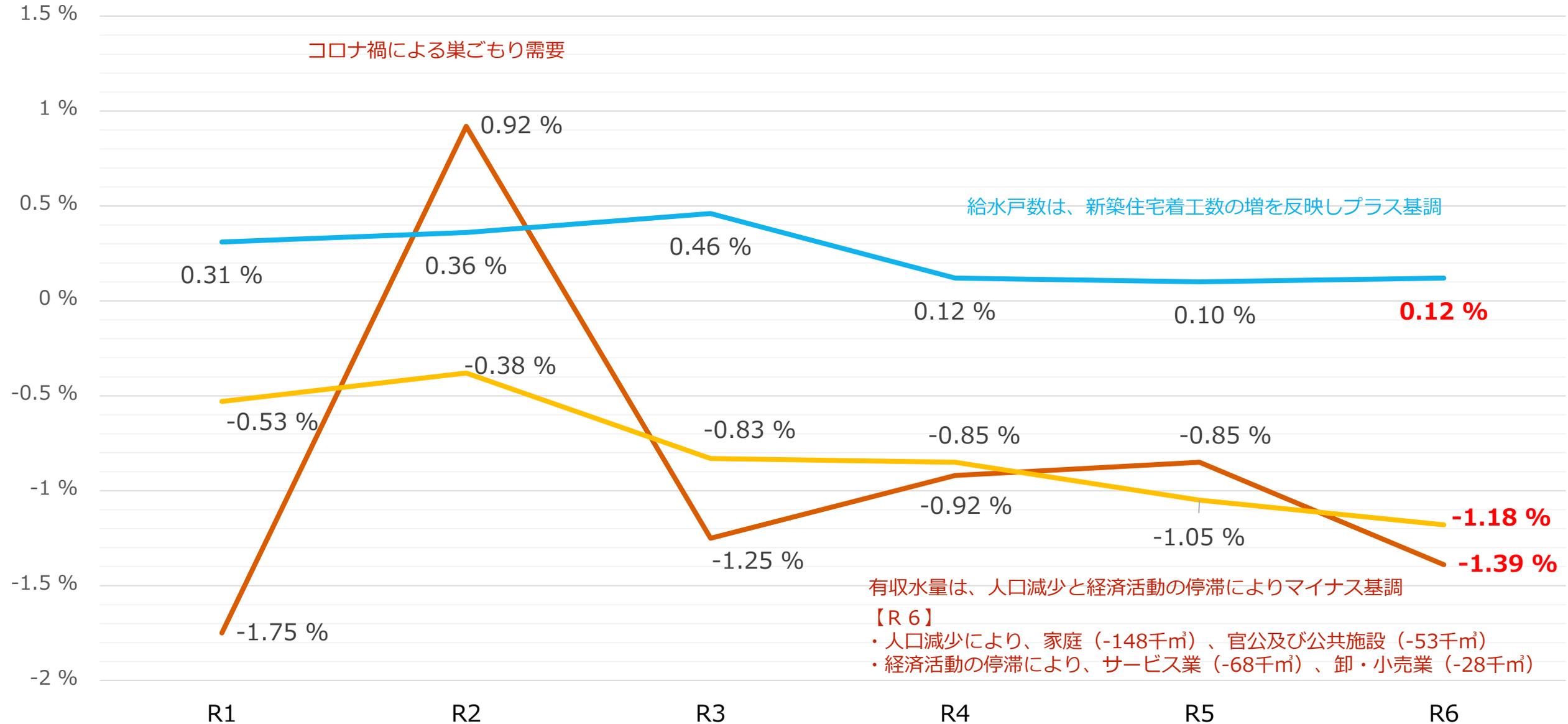
資本的収支	R 6 決算額 (A)	R 5 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
資本的収入	1,223,254,378	681,276,131	541,978,247	79.6
資本的支出	4,050,093,162	2,833,217,943	1,216,875,219	43.0
・老朽管更新事業	1,573,744,008	1,049,552,193	524,191,815	49.9
・用地購入 (宮代用地買戻し)	445,906,830	—	445,906,830	皆増
資本的収支不足額	▲2,826,838,784	▲2,151,941,812	▲674,896,972	▲31.4

※R 6 不足額補填財源 (過年度分損益勘定留保資金2,643,892,819円、消費税資本的収支調整額182,945,965円)

支出合計・繰越財源	R 6 決算額 (A)	R 5 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
支出合計	11,091,909,347	9,640,841,494	1,451,067,853	15.1
年度末繰越財源 (税抜)	3,635,558,808	4,371,821,187	▲736,262,379	▲16.8

有収水量の推移（対前年度比）

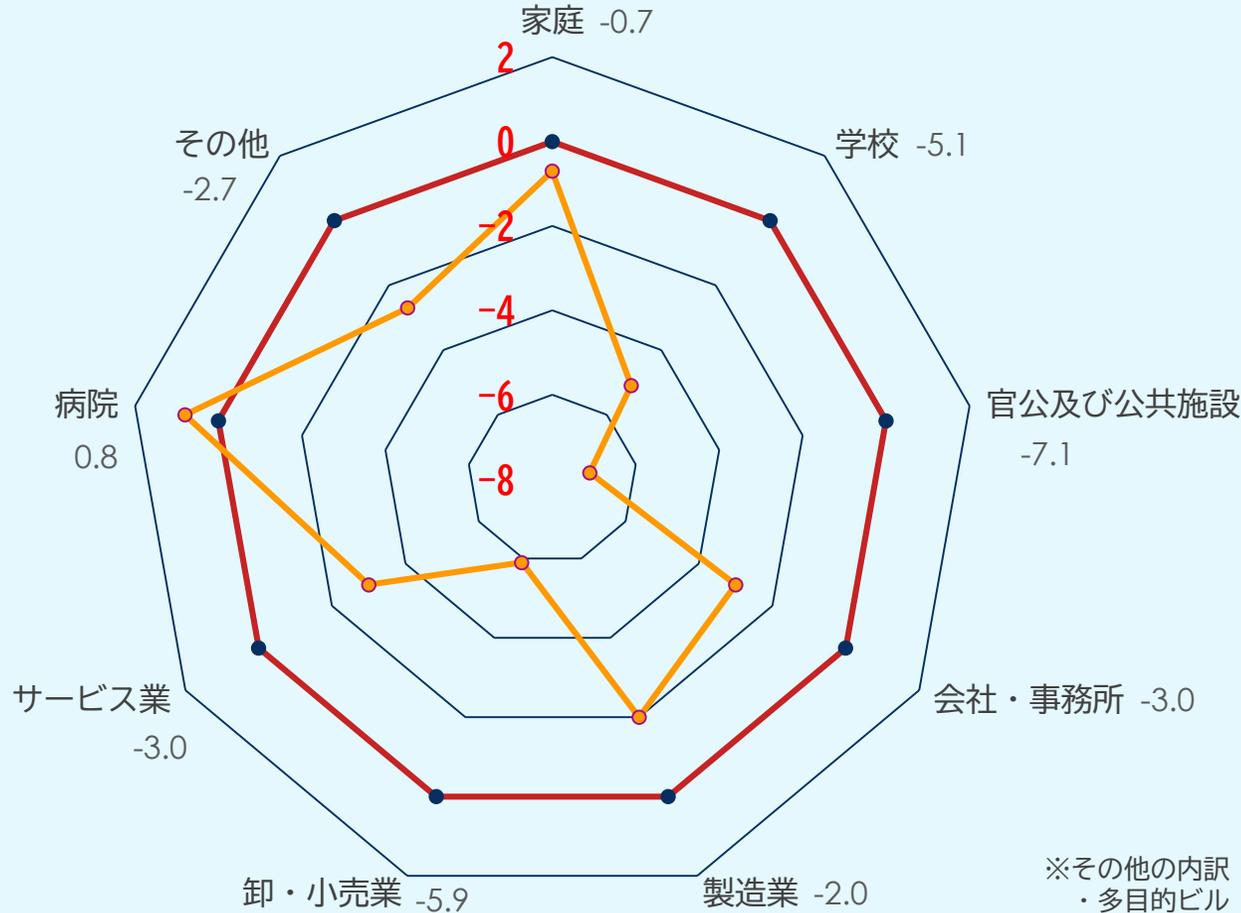
有収水量 給水人口 給水戸数



業態別水道使用量 R5 対 R6 比較

● R5 26,390,581m³ ● R6 26,030,231m³

※R5を0として
R6の増減比%
を表しています



※「その他」は、多目的ビル（店舗や飲食店、会社等が同居するビル）がほぼ全てを占めている。

※その他の内訳
・多目的ビル
・墓地、畑、牧場など
・臨時給水
・公衆浴場

業態別合計

- ・のべ戸数 917戸 (0.1%)
- ・水量 $\Delta 360,350\text{m}^3$ ($\Delta 1.4\%$)
- ・水道料金 (税抜)
 $\Delta 49,340,530\text{円}$ ($\Delta 0.8\%$)

家庭

- ・のべ戸数 1,565戸 (0.1%)
- ・水量 $\Delta 148,070\text{m}^3$ ($\Delta 0.7\%$)
- ・水道料金 (税抜)
 $\Delta 9,075,949\text{円}$ ($\Delta 0.2\%$)

官公及び公共施設

- ・のべ戸数 24戸 (0.1%)
- ・水量 $\Delta 52,520\text{m}^3$ ($\Delta 7.1\%$)
- ・水道料金 (税抜)
 $\Delta 11,544,250\text{円}$ ($\Delta 5.2\%$)

サービス業

- ・のべ戸数 $\Delta 144\text{戸}$ ($\Delta 0.5\%$)
- ・水量 $\Delta 67,892\text{m}^3$ ($\Delta 3.0\%$)
- ・水道料金 (税抜)
 $\Delta 13,684,083\text{円}$ ($\Delta 2.4\%$)

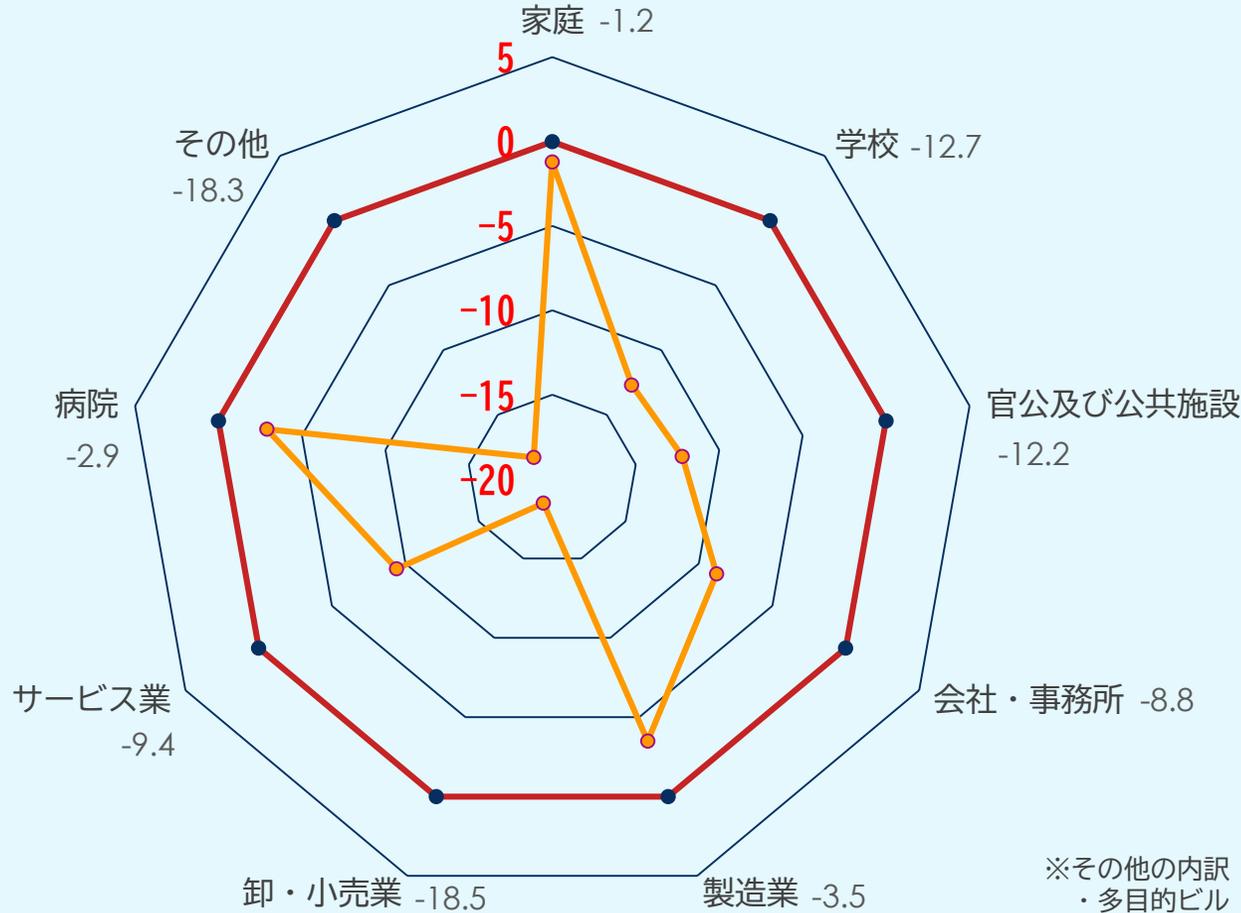
※参考	R5末	R6末	増減	対比
推計人口 (人)	272,485	269,208	$\Delta 3,277$	$\Delta 1.2\%$
世帯数	122,676	122,711	35	0.0%
給水人口 (人)	266,859	263,714	$\Delta 3,145$	$\Delta 1.2\%$
戸数	128,776	128,926	150	0.1%

人口減少とコロナ禍による給水収益への影響（対コロナ前比）

業態別水道使用量 R1 対 R6 比較

● R1 26,955,314m³ ● R6 26,030,231m³

※R1を0として
R6の増減比%
を表しています



※その他の内訳
・多目的ビル
・墓地、畑、牧場など
・臨時給水
・公衆浴場

※「その他」は、多目的ビル（店舗や飲食店、会社等が同居するビル）がほぼ全てを占めている。

業態別合計

- ・のべ戸数 15,866戸 (1.0%)
- ・水量 $\Delta 925,083\text{m}^3$ ($\Delta 3.4\%$)
- ・水道料金 (税抜)
 $\Delta 124,076,290\text{円}$ ($\Delta 1.9\%$)

家庭

- ・のべ戸数 18,469戸 (1.3%)
- ・水量 $\Delta 245,132\text{m}^3$ ($\Delta 1.2\%$)
- ・水道料金 (税抜)
33,217,360円 (0.7%)

卸・小売業

- ・のべ戸数 $\Delta 61\text{戸}$ ($\Delta 0.4\%$)
- ・水量 $\Delta 102,700\text{m}^3$ ($\Delta 18.5\%$)
- ・水道料金 (税抜)
 $\Delta 23,835,985\text{円}$ ($\Delta 16.2\%$)

サービス業

- ・のべ戸数 $\Delta 958\text{戸}$ ($\Delta 3.2\%$)
- ・水量 $\Delta 230,484\text{m}^3$ ($\Delta 9.4\%$)
- ・水道料金 (税抜)
 $\Delta 52,811,275\text{円}$ ($\Delta 8.5\%$)

※参考	R1末	R6末	増減	対比
推計人口 (人)	284,682	269,208	$\Delta 15,474$	$\Delta 5.4\%$
世帯数	124,569	122,711	$\Delta 1,858$	$\Delta 1.5\%$
給水人口 (人)	278,474	263,714	$\Delta 14,760$	$\Delta 5.3\%$
戸数	127,406	128,926	1,520	1.2%

(3) 収益的収支 (維持管理) 主な事業

① 有収率向上対策

4,963万2,000円

メンテナンス効率を向上させる水道DX技術の導入

- ・人工衛星画像とAIを活用した漏水リスク評価による漏水調査の効率化
- ・漏水の早期発見と早期修繕により、**有収率が89.7%へ回復**
※漏水調査による発見件数 R6 365件 (R5 103件)
- ・管路経年化率 R4 20.3% R5 22.4% R6 25.7%



② 維持管理・修繕

17億5,764万8,335円

遊休資産の整理と長寿命化、デジタル技術の活用

- ・遊休資産の利活用を図るため、**旧渡利浄水場や高架水槽を解体撤去**
- ・**受配水池の修繕や管路更生**により、施設の長寿命化を推進
- ・目視点検では確認できない水管橋を、**ドローンにより点検**

蓬萊高架水槽撤去工事



(4) 資本的収支 (建設改良) 主な事業

① 老朽管更新事業 15億7,374万4,008円

老朽管更新による基幹管路の耐震化

- ・ R 6 更新延長 5,659m 基幹管路 (大口径管) を優先
- ・ **基幹管路耐震適合率 R 6 99.2%** ⇒ R 7 100% (見込み)
※全国平均43.3% (R 5)
- ・ 管路更新率 R 4 0.5% R 5 0.2% R 6 0.3%

② 土湯地区水道施設整備事業 4,223万3,726円

土湯温泉町地区への安定供給

- ・ 鷲倉山水源の水量の不安定を解消し、施設の耐震化を図るため、福島地方水道用水供給企業団 (摺上川ダム) からの供給へ切替
- ・ **R 6 は用地測量・買収、設計**を進め、R 7から管路工事や配水池等築造工事に着手、R 10給水開始予定
- ・ 設計施工一括発注方式 (DB方式) により効率的に事業推進

③ その他更新事業等 4億5,651万5,300円

管路以外の耐震化・強靱化、新規布設

- ・ 水管橋 橋脚耐震補強、加圧ポンプ所更新、監視カメラ設備改良
- ・ 西部地区上水道整備事業



阿武隈川水管橋下部工耐震補強工事

④ 水道用地購入 4億4,590万6,830円

福島地方土地開発公社からの買戻し

- ・ 公社経営健全化計画に基づき、**宮代用地 (7,958㎡)** を買戻し
- ・ S48 水源拡張用地として公社へ買収依頼 → S49 公社が用地取得

(5) 経営分析

指標等	R 6 決算 (A)	R 5 決算 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
①供給単価	241.58 円/m ³	240.10 円/m ³	1.48 円/m ³	0.6
②給水原価	240.14 円/m ³	226.64 円/m ³	13.50 円/m ³	6.0
③供給損益 ①-②	1.44 円/m ³	13.46 円/m ³	▲12.02 円/m ³	▲89.3
④料金回収率 ①/②	100.60 %	105.94 %	▲5.34 pt	-
⑤経常収支比率	105.87 %	111.82 %	▲5.95 pt	-
⑥企業債残高対給水収益比率	156.32 %	158.44 %	▲2.12 pt	-
⑦流動比率	271.45 %	262.31 %	9.14 pt	-

【主な指標等の分析】

②給水原価（水道水 1 m³当たりの製造費用）

- ・資産減耗費など営業費用の増加と、有収水量の低下により、給水原価が増加した。

⑥企業債残高対給水収益比率（給水収益に対する企業債残高の割合）

- ・企業債の償還終了や予定工事の繰越に伴い年度内の借入額が減少し、企業債残高の割合が減少した。

⑦流動比率（流動負債に対する流動資産の割合）

- ・預金等の資産の減少率より、企業債等の負債の減少率が上回ったため、流動比率が上昇した。
引き続き、200%以上の優良水準を確保している。